

ユニットケア施設管理者研修

指導要領

目次

オリエンテーション.....	1
1. ユニットケアを取り巻く社会的背景と展望.....	3
2. ユニットケアの理念と特徴.....	7
3. ユニットケア施設の組織体制とマネジメント.....	13
4. 組織のマネジメント.....	17
5. ユニットケア導入・運営計画演習.....	28

オリエンテーション

(時間：15分)

到達目標：
・ ユニットケア施設管理者研修の目的と、研修の概要、到達目標について理解する。

担当：研修主催者 等

(1) 本単元の目的・ねらい

➤ 管理者研修の目的、施設管理者として習得すべき能力、研修の概要を説明し、以降の研修受講に向けた心構えをつくる。

(2) 研修体系全体における本単元の位置づけ

➤ 研修体系全体の流れと、到達目標を示してモチベーションを高める。

(3) 指導の視点

➤ 研修の目的、目標を理解し、受講に向けた心構えとモチベーションを高められるような働きかけをする。

➤ リラックスした打ち解けやすい雰囲気をつくる。

(4) 進め方（例）

次頁に示す。

オリエンテーションの進め方（例）

指導項目	概要	進め方(例)	指導方針・ポイント	教材
<p>研修の目的 (5分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修によって育成する施設管理者の役割の概要 ・ 研修の目的は以下の3点 <ul style="list-style-type: none"> ①ユニットケアの理念と意義について理解する ②ユニットケアを行う上で の施設管理者、ユニットリーダー、ユニットメンバーそれぞれの役割について理解する ③ユニットリーダーによるケアおよびユニットのマネジメントを支援、促進するための管理者のあり方について理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の目的①②③について説明する 	<p>ユニットケア施設管理者の役割についてあらためて考え、理解する研修であることを伝える</p> <p>ユニットリーダーの役割を理解することが重要である点を理解させる</p>	<p>スライド</p>
<p>研修の概要と到達目標 (10分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設管理者研修の構成 ・ 各単元の概要と目的 ・ 研修の到達目標の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・ スライドにより、事前課題⇒集合研修⇒実践課題の流れと目的を説明 ・ この研修が目指すゴールを示す 	<p>研修全体の見通しを持たせ、研修のゴールを共有する</p> <p>知識だけではなく実践力を重視することを伝える</p>	<p>スライド</p>

1. ユニットケアを取り巻く社会的背景と展望

(形式：講義) (時間：45分)

テキスト P1～10、P14～22

到達目標：

- ・ ユニットケアを取り巻く社会状況および地域社会の変化と、高齢者保健福祉政策の変遷について確認し、ユニットケアが制度化された経緯を理解する。
- ・ 介護ニーズの増大を踏まえ、地域包括ケアシステムの中で施設が果たすべき役割について理解する。
- ・ 多様化する介護ニーズに対応するため介護の質を高めていく必要があること、また施設管理者として専門性を有する介護人材を確保、育成していくことの重要性を理解する。
- ・ 高齢者介護施設におけるユニットケアの位置づけと、向かうべき方向性を理解する。

講師要件：講義内容に関する有識者(行政担当者等)

(1) 本単元の目的・ねらい

- ユニットケアを取り巻く社会的背景やその変化を踏まえ、高齢者介護施設や介護人材に求められる役割について理解する。

(2) 研修体系全体における本単元の位置づけ

- 現在とこれから向かうであろう高齢社会全体の理解をする。
- 施設のあり方や役割を再確認し、これから続く施設管理者のマネジメント力養成の基礎知識とする。

(3) 指導の視点

- レジメに沿い、わかりやすく説明する。

(4) 研修の進め方 (例)

指導項目	概要	小項目	指導内容 キーワード	進め方	指導方針・ ポイント	テキスト 該当 ページ	教材	備考
(導入) (5分)	・学習の目的、目標の確認	---	---	・本章のねらいと学習項目について説明する		P1	テキスト	
ユニットケアを取り巻く社会状況と地域社会の変化 (10分)	・家族だけで要介護高齢者を支えることが困難になっていった社会的背景を理解する	高齢化の進展と介護ニーズの増大	・ 要介護高齢者の増加	・ スライドに基づき、高齢化の進展と介護ニーズの増大について解説する	・介護が社会的な問題であることを認識させる ・介護を担う施設・人材の必要性について理解させる	P2	スライド	
		要介護高齢者を支えてきた家族をめぐる状況の変化	・ 一人暮らし高齢者の増加 ・ 老々介護 ・ 介護離職・仕事と介護の両立	・ スライドに基づき、家族をめぐる変化とそれに伴う介護の問題について解説する				
社会保障制度と政策 (10分)	・介護保険およびユニットケアが制度化された経緯について理解する	介護保険制度の趣旨と概要	・ 介護保険制度 ・ ユニットケアの制度化 ・ 地域包括ケアシステム	・ スライドに基づき、高齢者保健福祉政策の変遷と介護保険制度導入の経緯、ユニットケア制度化の背景について解説する ・ 地域包括ケアシステム導入の背景と概念について説明する	・介護保険制度を機にこれまで貧民救済政策として位置づけられていた福祉が利用者の「権利」に変わったことを理解させる ・高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援という理念のもと各種施策が行われていることを説明する	P7	スライド	
高齢者介護施設に求められる役割 (10分)	・高齢者介護施設に求められる役割として、医療ニーズ、認知症、看取り、重度化への対応と医療との連携の必要性について理解する ・地域包括ケアシステムの中で求められる地域福祉の拠点としての役割について理解する	施設の重度化と高齢者介護施設に求められる役割	・ 重度化 ・ 医療ニーズ ・ 認知症 ・ 看取り	・ スライドに基づき、重度化への対応等今後施設に求められる機能、役割について解説する	・地域包括ケアシステムの中で果たすべき施設の役割、機能について理解させる	P14	スライド	
		地域包括ケアシステムにおける施設の位置づけと地域との連携・交流の重要性	・地域福祉の拠点 ・終の棲家 ・地域との連携・交流	・ スライドに基づき、地域包括ケアシステムにおける施設の位置づけと、それを踏まえた地域との連携・交流の重要性について解説する				
介護人材の担う役割 (5分)	・介護の重度化や認知症高齢者の増加など、より専門性を必要とするケアの提供が求められていることを理解する	専門性を有する介護人材の役割の重要性	・介護の質 ・介護人材の構造転換	・ スライドに基づき、2025年に向けた介護人材の構造転換と具体的な施策について解説する ・ 知識や技術のスキルアップを図り、	・施設管理者として専門性を有する介護人材を確保、育成していくことの重要性を理解させる	P18	スライド	

指導項目	概要	小項目	指導内容 キーワード	進め方	指導方針・ ポイント	テキスト 該当 ページ	教材	備考
	・介護の質を上げていくために、施設 管理者として専門性の高い介護人 材を育成していくことが求められてい ることを理解する			介護の質を上げていく必要性につ いて解説する				
まとめ 振り返り (5分)	・学習内容の確認	---		・ 本章のまとめ	・介護人材の重要性に ついて再認識させ、モ チベーションを高める	---	スライド	

(5) 評価ポイント

➤ 本課目修了時の評価ポイントを以下に示す。

- 地域包括ケアシステムにおける施設の位置づけ・役割について文章化できる。
- 専門性を有する人材育成の重要性を理解し、自施設ユニットにおける人材育成についての課題・問題点を指摘できる。
- 高齢者介護施設におけるユニットケアの位置づけと、向かうべき方向性について文章化できる。

2. ユニットケアの理念と特徴

(形式：講義) (時間：150分)

テキスト P51～55, P71～P84, P89～P96, P106～P112

到達目標：

- ・ ユニットケアの理念と基本方針について理解する。
- ・ 高齢者に対する全人的理解の考え方を確認する。
- ・ 入居者に対する尊厳の保持について再確認し、施設における入居者への適切な対応について振り返ることができる。
- ・ 個別ケアの考え方とその人らしい生活を継続するための支援のあり方、自立支援の考え方について理解する。
- ・ ユニットケアの仕組みとしての生活単位と介護単位の一体化の考え方および小規模化のメリット・意義・課題を理解する。
- ・ ユニットケアの理念を踏まえ、個室の役割、ユニット型施設における空間構成、およびユニット型介護保険施設の施設・設備基準を理解する。

講師要件：講義内容に関する有識者（豊富な現場経験を有するユニットケア施設管理者等）

(1) 本単元の目的・ねらい

- 入居者の状況を全人的に捉える視点を養う。
- 尊厳の保持、プライバシー、人権など介護職員として必要な基本的視座を再確認する。
- ユニットケアの理念と基本方針について理解する。
- 自立支援・自律支援の考え方、および個別ケアの考え方とその人らしい生活を継続するための支援のあり方について理解する。
- 個別ケアを実践する手法としてのユニットケアの仕組みについて理解する。

(2) 研修体系全体における本単元の位置づけ

- 入居者に対する理解を深め、ユニットケアの理念および意義について理解する。
- ユニットケアの仕組みについて学ぶことで、ユニットケアが個別ケアを実践する一つの手法であることを理解する。

(3) 指導の視点

- 「人」の捉え方について解説する。特に、高齢者に対する全人的理解とその重要性について説明する。
- ユニットケアは個別ケアを実践する一つの方法であることを説明する。
- 個別ケアの重要な視点である生活の継続について説明する。
- ユニットケアおよび個別ケアでは、一人ひとりの入居者が「ごく普通の生活」を行えるよう支援することが目標になっていることを説明する。
- ユニットケアの仕組みとしての生活単位と介護単位の小規模化について説明する。生活単位と介護単位を一体化させることで、より個別ケアが行いやすくなることを説明する。

- 個室の必要性をプライバシーの確保およびテリトリーの形成から説明する。
- 住宅スケールの空間構成、なじみの人間関係、残存機能の活用などユニット空間の効果について解説する。
- 入居者の自立を支援し、入居者の意思決定に基づくケアを実践していくことの重要性について説明する。

(4) 研修の進め方 (例)

指導項目	概要	小項目	指導内容 キーワード	進め方	指導方針・ ポイント	テキスト 該当 ページ	教材	備考
(導入) (5分)	・ 学習の目的、目標の確認	---	・ ユニットケアの理念 ・ 個別ケア	・ 受講生が理解している「ユニットケア」の理念や特徴をあげる	・ あらためてユニットケアの基本を確認することの意識づけ	P71	なし	
高齢者に対する全人的理解 (10分)	・ 「人」に対する理解を深める。全人的理解という観点から高齢期における人について学ぶ	高齢者に対する全人的理解	・ 全人的理解	・ 入居者 A さんの人物像を紹介 ・ スライドに基づいて全人的理解の概念を説明する	・ 一人の人間を理解する視点を確認する ・ 言葉の概念を A さんという例によって具体的にイメージできるようにする	P52	スライド事例A	
		高齢者の個別性と多様性の理解	・ 個性性と多様性への対応の重要性	・ スライドに基づいて個性性と多様性の概念を説明する ・ ICF の考え方について説明する		P54	スライド事例A	
権利擁護 (15分)	・ ユニットケアにおける権利擁護について学ぶ	人権侵害の防止	・ 身体拘束廃止 ・ 虐待防止	・ スライドを用いて自己決定の意義やプライバシーを守ることの具体的な例を示しながら、ケアのあり方を理解する ・ テキストを用い、身体拘束についての制度の説明とユニットケアでは身体拘束を回避できることを説明する	・ 権利擁護の重要性を再認識させる ・ ユニットケアの特徴を踏まえた権利擁護の実践方法を知る	P106	スライド	
		意思決定支援	・ 自己決定 ・ 代理意思決定			P108	スライド	
		プライバシーの保護	・ プライバシー保護 ・ 個人情報保の取り扱い			P109	スライド	
		インフォームド・コンセント	・ 説明と同意			P110	スライド	
ユニットケアの理念 (10分)	・ 「ごく普通の暮らし」を支援するというユニットケアの理念を理解する ・ ユニットケアは個別ケアを実践する一つの仕組みであることを理解する	---	・ 個別ケア ・ その人らしい生活 ・ 居宅における生活との継続性	・ スライドを用いてユニットケアの理念について説明する ・ 運営基準 39 条の確認	・ ユニットケアの理念の理解を徹底させる ・ ユニットケアが目指す、施設を暮らしの継続の場にするの意義と介護論を一致させる	P72	スライド	
ユニットケアの仕組み (15分)	・ ユニットケアの基礎理論である生活単位の小規模化と介護単位の小規模化について	生活単位と介護単位の一致	・ 生活単位 ・ 介護単位 ・ なじみの関係性	・ スライドを用いて理論的にユニットケアの仕組みについて説明する	・ 生活単位と介護単位を一致させることの利点、意義を理解させる	P73	スライド	

指導項目	概要	小項目	指導内容 キーワード	進め方	指導方針・ ポイント	テキスト 該当 ページ	教材	備考
	理解する ・生活単位と介護単位の一 致により「なじみの関係性」が構 築されることを理解する	介護単位と情報 の関係	・小規模な介護単位 ・入居者の情報の把 握	・生活単位と介護単位の一 致の理論とそれに基づく運営の 効果を説明する		P74		
(休憩)								
ケアと空間 の融合 (15分)	・個室の役割について理解す る ・ユニット型空間の考え方につ いて理解する	生活の場として の施設環境	・居室に近い居住環 境	・PPTによる講義形式の解説 ・個室やユニット型空間につ いての映像を通して理解して もらう ・ユニット型施設計画ガイドラ インに示されている基準をもと に説明し、建物の理論を理解 する	・ユニットケアの理念や仕 組みを踏まえて、ユニット のハード面の特徴とその 利点を理解させる	P76	スライド 写真	
		個室の役割	・プライバシー ・テリトリー			P76		
		空間の機能と共 用する集団の 規模	・段階的空間構成論 ・ユニットケアにおける 空間構成			P79		
		ユニット型施設 の設備に関する 基準	・居室 ・共同生活室			P82		
安心・快適 な環境づくり (10分)	・住まいとしての空間スケ ール、空間のしつらえにつ いて学ぶ	住まいとしての しつらえ	・スケール感 ・居場所 ・寸法	・住まいとしてのしつらえにつ いて基本となる考え方を説明し、 写真により多様な事例を紹介 する	・空間のしつらえ方につ いてのイメージを養う。(良し 悪しの判断の押しつけで はなく、多様な方法があ ることを示す)	P84	スライド 写真	
ユニットケア における自 律した日常 生活の支援 (30分)	・自立支援の考え方と、入居 者が自律した日常生活を営 むことの支援の考え方につ いて学ぶ ・個別ケアを実践するため には、入居者とその生活につ いて理解し、個別のニーズに即 して生活リズムに沿ったケアの 展開が重要であることを理解 する ・居室における生活を継続 するために、入居時の環境の 変化に配慮し新しい生活づく りを支援することが重要であ ることを学ぶ ・入居者の生活習慣や生活リ	自立支援の 原則	・自立支援 ・残存能力	・スライドを用いて自立支援と 自律支援の理解を深める	・自立支援・自律支援に は、個別ケアが基本であ ることを理解させる	P90	スライド	
		自律的な日常 生活を営むこ との支援	・自律 ・自己決定 ・自己選択 ・個別ケア ・全人的理解			P90	スライド	
		居室における 生活の継続	・環境変化 ・新しい生活の再構築			・高齢者施設への入居とその支 援の役割を理解する動画やス ライドを用いて、入居者の一 日の暮らし方とその支援のあ り方を確認する	・入居者それぞれの暮らし を支援することの意義を 確認する	P92

指導項目	概要	小項目	指導内容 キーワード	進め方	指導方針・ ポイント	テキスト 該当 ページ	教材	備考
	ズムに沿って、その人らしい生活を支援するためのポイントを学ぶ							
(休憩)								
演習 (30分)	・ 先駆的にユニットケアの取り組みをしている施設の代表等に取り組みの工夫点や特徴について話してもらい、それを受けて自施設での取り組み状況や課題を整理する	---	---	・ 先駆的な取り組みの紹介(10分) ・ 個人で自施設の取り組み状況と課題を整理(5分) ・ グループで課題をとりまとめ、発表(15分)		---	スライド ワークシート	
まとめ 振り返り (10分)	・ 学習内容の確認	---	---	・ 本章のまとめ	・ 「導入」における受講生の認識への解答、総括 ・ ユニットケアの理念と特徴とハードの特徴との関係を理解させる	---	スライド	

(5) 評価ポイント

➤ 本課目修了時の評価ポイントを以下に示す。

- ユニットケアの理念について理解できているか。また、自分自身の言葉でユニットケアの理念を語ることができるか。
- その人らしい生活を実現することの重要性や、それを実現する方法について理解しているか。
- 介護職員として必要な倫理観について理解しているか。
- 自立を支援する方法について理解しているか。
- 個別ケアを実践するためのユニットケアの仕組みについて理解できたか。
- 個室とユニット型空間についての理論を理解できたか。
- 住まいとしてのしつらえについての理解ができたか。

3. ユニットケア施設の組織体制とマネジメント

(形式：講義) (時間：60分)

テキスト P23～P39

到達目標：

- ・ 組織のマネジメントの基礎となる知識および技能について理解する。
- ・ チームケアおよび多職種との協働の中で、ユニットリーダーに求められる役割や機能について理解する。
- ・ 管理者の役割とユニットリーダーとの関わり方について理解する。

講師要件：講義内容に関する有識者（リーダー・マネジメント論、組織管理学の学識者等）

(1) 本単元の目的・ねらい

- ユニットケア施設の組織体制と組織マネジメントの基礎を理解する。
- ユニットリーダーの役割と直面している課題について理解する。
- 多職種の役割と連携の必要性について理解する。
- 上記を円滑に達成するための管理者の役割について理解する。

(2) 研修体系全体における本単元の位置づけ

- 次の単元で、ユニットケア施設における組織マネジメントの具体的な内容を学ぶための導入として、ユニットケア施設の組織体制の特徴やマネジメントのポイントについて整理する。
- リーダーの役割と管理者の役割の違いや関係性について理解する。

(3) 指導の視点

- 組織体制とマネジメントの範囲を理解させる。
- マネジメントの改善を図るためのツールとして、PDCA サイクルの考え方があることを理解させる。
- ユニットリーダーの役割と業務における課題を示し、管理者の関わり方の重要性について意識づける。

(4) 研修の進め方 (例)

指導項目	概要	小項目	指導内容 キーワード	進め方	指導方針・ ポイント	テキスト 該当 ページ	教材	備考
(導入) (5分)	・ 学習の目的、目標の確認	---	---	・ 本章のねらいと学習項目について説明する		P23	テキスト	
ユニット ケア施設の 組織 体制 (15分)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 組織図を用い、ユニットケアを提供するための組織体制について説明する ・ 継続的にマネジメントの改善を図るためのPDCAサイクルの考え方について理解する 	組織化と理念の共有	<ul style="list-style-type: none"> ・ 組織化 ・ 理念・展望・信条 ・ マネジメント 	・ スライドに基づき、マネジメントの基礎や、組織体制や権限、資源の最大化について説明する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 組織体制とマネジメントの範囲を理解させる ・ マネジメントの改善を図るためのツールとしてPDCAサイクルの考え方があることを理解させる ・ 管理者の視点で説明する 	P24	スライド	
		組織図と施設マネジメント(組織階層と職務)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 組織図 ・ 多職種間の連携 	・ スライドに基づき、組織図をつくることの意義、他職種の役割を理解することの意義を伝える		P25	スライド	
		権限の委譲、報告によるフィードバック	<ul style="list-style-type: none"> ・ マネジメントの権限移譲 	・ スライドに基づき、権限移譲の考え方とユニットリーダーの権限について説明する		P27	スライド	
		マネジメントの対象	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人的資源・物的資源・財的資源・情報の活用 	・ スライドに基づき、管理者およびユニットリーダーのマネジメントの対象について説明する		P28	スライド	
		PDCA サイクル	<ul style="list-style-type: none"> ・ マネジメントの改善 ・ PDCA サイクル 	・ スライドに基づき、継続的な組織改善を促す仕組み(PDCA サイクル)について説明する		P30	スライド	
ユニット リーダー の役割と 配置の 意義 (15分)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ユニットリーダー配置の意義として、個別ケアの実践の上で必要な存在であることを説明する。 ・ 併せてユニットリーダーの配置と基準が運営基準に規定されていることを説明する 	ユニットリーダー配置の意義	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個別ケアの実践 ・ ケアの継続性 	・ スライドに基づき、個別ケアの実践とユニットリーダーの役割を具体的に示す	<ul style="list-style-type: none"> ・ ユニットリーダーの役割、機能、権限を明確化するとともに、リーダーが直面している課題を示し、求められている役割や機能を達成・発揮させるための管理者としての関わり方を意識づける ・ ユニットリーダーの課題について身近な例などをあげて具体的な情報を提供する。 	P33	スライド	
		ユニットリーダーの配置と役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運営基準 ・ ユニットリーダー研修の内容 	・ ユニットリーダーの配置と基準が運営基準に規定されていること、ユニットケアの中心的役割を担うことを解説する		P34	スライド	
		ユニットリーダーの業務の現状	<ul style="list-style-type: none"> ・ ユニットリーダーによるユニットのマネジメント ・ ユニットリーダーが直面している課題 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ユニットリーダーによるユニットのマネジメントとユニットリーダーの業務の実態と、多くのリーダーに共通する課題について紹介する。 ・ ユニットリーダーの業務を支援する管理者の関わり方について解説する 		---	スライド	
チーム ケアと多 職種 協働 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護職のチームの理解、チームケアおよび多職種の協働の必要性和重要性を学ぶ 	チームケアと多職種協働	<ul style="list-style-type: none"> ・ チームケア ・ 多職種の役割 ・ 多職種連携 	・ スライドに基づき、チームケア、多職種のそれぞれの役割、多職種が連携することの必要性について説明する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的な例をあげながら、職種ごとの役割と連携の必要性、連携を円滑に進めるための管理者の役割について示す 	P37	ワークシート	

指導項目	概要	小項目	指導内容 キーワード	進め方	指導方針・ ポイント	テキスト 該当 ページ	教材	備考
ユニット ケアにおける各職 種と管理 者の役 割 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ユニットリーダー、ユニットメンバー、その他の職種それぞれに求められる役割を踏まえて、施設管理者の役割について学ぶ 	管理者の役割	<ul style="list-style-type: none"> ユニットリーダー、ユニットメンバー、その他の職種それぞれに求められる役割 管理者の役割と関わり 	<ul style="list-style-type: none"> スライドに基づき、ユニットリーダー、ユニットメンバー、その他の職種それぞれに求められる役割について具体的に示す 上記を円滑に進めるための管理者の役割、関わり方の重要性を意識づける 	<ul style="list-style-type: none"> 具体的なマネジメントの内容は次の単元で学び、ここでは管理者としての「役割」を意識づける 	P39 P43	スライド	
まとめ 振り返り (5分)	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容の確認 	---			<ul style="list-style-type: none"> 管理者の役割の重要性を示し、以降の研修への参加意欲を高める 	---	スライド	

(5) 評価ポイント

➤ 本課目修了時の評価ポイントを以下に示す。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> ユニットケア施設の組織体制と組織マネジメントの基礎を理解することができたか。<input type="checkbox"/> ユニットリーダーの役割と直面している課題について理解することができたか。<input type="checkbox"/> 多職種との役割と連携の必要性について理解することができたか。<input type="checkbox"/> 上記を円滑に達成するための管理者の役割について理解することができたか。 |
|--|

4. 組織のマネジメント

4-1 ケアのマネジメント

(形式：講義＋演習) (時間：60分)

テキスト P113～P139

到達目標：

- ・ ユニットにおけるケアの質向上のための、介護過程のプロセスの概要と管理者としての留意点ができる。
- ・ 介護過程の展開（PDCA サイクル）における、チームケアのための留意点、管理者として留意点ができる。

講師要件：講義内容に関する有識者およびファシリテーター能力のある者（豊富な現場経験を有するユニットリーダー経験者および施設管理者等）

(1) 本単元の目的・ねらい

- 個別ケアを実践し、ケアの質を高めるためのケアのマネジメントの重要性を理解し、管理者がケアの質を担保するための視点を提供する。
- 介護過程の展開（PDCA サイクル）を用いたケアの質のマネジメントの基本的な考え方を理解する。

(2) 研修体系全体における本単元の位置づけ

- 個別ケアを実践し、ケアの質を高めるためのケアのマネジメントの重要性を理解し、管理者がケアの質を担保するための視点を提供するため、介護過程の意義と目的、基本的な考え方を解説する。

(3) 指導の視点・ポイント

- ケアは、「アセスメント→計画の作成→介護の実施→評価→改善・見直し→再アセスメント」といったサイクルであることを再認識するように説明をする。
- 介護過程を提供するメリットや効果を管理者の立場から説明する
- 確認すべき PDCA の項目として介護過程を説明する。

(4) 研修の進め方（例）

指導項目	概要	小項目	指導内容 キーワード	進め方	指導方針・ ポイント	テキスト 該当 ページ	教材	備考
導入 (5分)	・ 学習の目的、目標 の確認		・ ケアのマネジメント	・ ケアのマネジメント(ケアの質の確保、向上)に必要なことについて説明する	・ 個別ケアであること、質の確保だけでなく、向上していくという点について意識させる	P113	なし	
介護過程の 意義と目的 (10分)	・ 客観的で科学的根拠に基づいた介護の重要性	介護過程の意義と目的	・ 個別ケア ・ 介護過程 ・ 科学的根拠に基づいた介護 ・ 言語化と記録	① 介護過程とは何かを説明する ② 根拠ある介護であることを確認する ③ 施設という特徴と個別ケアに必要なことについて説明する ④ 実践だけではなく、思考過程も言語化、記録することで根拠を示す、チームケアに活かすことを説明する	・ 施設におけるケアの質のマネジメントの根幹であることを示す ・ 日常的にしている思考過程であることも説明する ・ チームケアの視点を入れる	P114	スライド	
介護過程における PDCA (40分)	・ 介護過程について、PDCAの観点から説明する	介護過程におけるPDCAサイクル (30分)	・ 介護過程とPDCAサイクル ・ アセスメント ・ 情報収集 ・ 情報の解釈、関連づけ、統合化 ・ 課題の明確化 ・ 計画の立案 ・ 支援と評価	① ケアの質の確保・向上のためのサイクルであることを図を用いて解説する ② アセスメント(情報収集、情報の解釈・関連付け・統合化、計画の立案、課題の明確化)とは何かを説明する ③ 支援(安全への配慮、計画の継続性、記録、役割分担)をユニットチームで行う際の留意点の説明。評価と改善と見直しについて説明する	・ PCDAサイクルの中でのアセスメント、再アセスメントの位置づけについて必ず補足する ・ 介護過程の構成要素それぞれでの難しさや陥りやすいことについて、実際の例をあげて説明することで、身近なものとしてイメージしやすくする ※詳細を学ぶ場合のテキスト参照ページを示す	P115	スライド	ポイントをまとめたスライド
		管理者の視点からみた介護過程 (10分)	・ ケアの質のマネジメント	・ 個別ケアを実践し、ケアの質を高めるためのケアのマネジメントの重要性を示す ・ 管理者としての介護過程の見方、施設運営における活用方法について示す	・ 管理者がケアの質を担保するための視点として活用できるようにする	P124		
まとめ 振り返り (5分)	・ 学習内容の確認					---	スライド	

(5) 評価ポイント

➤ 本課目修了時の評価ポイントを以下に示す。

- 介護過程の意義と目的を理解することができたか。
- 介護過程の展開の概略について理解することができたか。
- 根拠に基づいた介護について理解することができたか。
- 施設におけるケアの質の向上のために介護過程をどのように活用するかをイメージすることができたか。

4-2 ユニットのマネジメント

(形式：講義、演習、グループワーク) (時間：60分)

テキスト P140~P178

到達目標：

- ・ ユニットのマネジメントに関する知識を習得する。
- ・ ユニットリーダーによるマネジメントと管理者によるマネジメントについて理解する。

講師要件：講義内容に関する有識者およびファシリテーター能力のある者（豊富な現場経験を有するユニットリーダー経験者および施設管理者等）

(1) 本単元の目的・ねらい

- ユニットリーダーが行うユニットのマネジメントを把握した上で、管理者の役割について理解する。

(2) 研修体系全体における本単元の位置づけ

- ユニットリーダーによるユニットのマネジメントについて理解した上で、ユニットのマネジメントに対する管理者の関わり方の重要性について意識づける。

(3) 指導の視点・ポイント

- ユニットリーダーに求められるケアのマネジメント、ユニットのマネジメントの概要について学ぶ。
- ユニット型施設の特徴を踏まえてユニットリーダーが抱えている現状の課題と、その解決のために管理者が果たすべき役割について、具体例をもとに学ぶ。
- ユニットリーダーがケアおよびユニットのマネジメントを円滑に行うために管理者が行うべきサポートや指導のあり方について考える。

(4) 研修の進め方（例）

指導項目	概要	小項目	指導内容 キーワード	進め方	指導方針・ ポイント	テキスト 該当 ページ	教材	備考
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> 学習の目的、目標の確認 		<ul style="list-style-type: none"> ユニットのマネジメント 	<ul style="list-style-type: none"> 本章の学習目標と到達点について説明する 	<ul style="list-style-type: none"> 本章の学習目標と到達点について詳細に説明する 	P140	なし	
ユニットの マネジメント とは (40分)	<ul style="list-style-type: none"> ユニットのマネジメントという概念について学ぶ 各職種におけるマネジメントの範囲について理解する 	ユニットのマネジメント (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ユニットのマネジメントの範囲と内容 (人的資源・物的資源・情報の活用) 	<ul style="list-style-type: none"> ユニットのマネジメントについて説明する 	<ul style="list-style-type: none"> ユニットのマネジメントについて解説する 管理者の視点を意識づける 	P141 (P167まで概観)	スライド	
	<ul style="list-style-type: none"> ユニットリーダーが担うマネジメントの内容と現状の課題について理解する 	ユニットリーダーの役割と現状の課題 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> ユニットリーダーが実践すべきユニットのマネジメント 現状の課題 	<ul style="list-style-type: none"> ユニットリーダーがマネジメントすべき対象について説明する ユニットリーダーが直面する課題について説明する 	<ul style="list-style-type: none"> ユニットリーダーによるユニットのマネジメントを支援することの必要性を意識づける 事例を示すなどして、具体的な課題を紹介する 	—	スライド	
管理者の 関わり (10分)	<ul style="list-style-type: none"> 管理者に求められる役割と支援について理解する 	管理者の 関わり	<ul style="list-style-type: none"> 管理者の役割と支援内容 	<ul style="list-style-type: none"> ユニットリーダーによるユニットのマネジメントを円滑に実現するための管理者の関わりや、管理者としてのユニットマネジメントについて考える (他の参加者とディスカッションなど) 	<ul style="list-style-type: none"> 管理者として役割と関わりについて、自施設の実態に即して具体的にイメージできるようにする 	—	スライド	
まとめ 振り返り (5分)	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容の確認 			<ul style="list-style-type: none"> 	<ul style="list-style-type: none"> 	---		

(5) 評価ポイント

➤ 本課目修了時の評価ポイントを以下に示す。

- ユニットリーダーが行うユニットのマネジメントについて理解することができたか
- ユニットリーダーによるマネジメントの現状の課題を把握することができたか
- 管理者の役割について、自施設の実態に基づいて具体的にイメージすることができたか。

4-3 施設のマネジメント

(形式：講義、演習、グループワーク) (時間：210分)

テキスト P140~P178

到達目標：

- ・ ユニットケア施設のマネジメントにおいて重要な事項について理解する。
- ・ ユニットケア施設のマネジメント実践に関する知識および技能を習得する。

講師要件：講義内容に関する有識者およびファシリテーター能力のある者（豊富な現場経験を有するユニットリーダー経験者および施設管理者等）

(1) 本単元の目的・ねらい

- 管理者として必要なユニットケア施設の運営（施設のマネジメント）に関する知識および技能を習得する。

(2) 研修体系全体における本単元の位置づけ

- 管理者の役割を踏まえて、ユニットケア施設をマネジメントする能力を育成する。
- ユニット型施設の特性を踏まえたマネジメントのあり方について「人的資源、物的資源、財的資源、情報」という観点から学ぶ。

(3) 指導の視点・ポイント

- 組織の中における管理者の役割について説明する。
- 課題形成と課題解決アプローチ（PDCA サイクル）の方法について説明する。
- 職員教育、効果的な研修の理解、職員相談支援のあり方について説明する。
- 施設におけるリスクマネジメントについて説明する。

(4) 研修の進め方（例）

指導項目	概要	小項目	指導内容 キーワード	進め方	指導方針・ ポイント	テキスト 該当 ページ	教材	備考
導入 (5分)	・学習の目的、目標の確認		・ユニットのマネジメント	・本章の学習目標と到達点について説明する ・関連のある章についての振り返りを簡略的に行う	・本章の学習目標と到達点について詳細に説明する ・関連のある章の内容を簡単に振り返る	P141	なし	
施設の マネジメントの 考え方 (15分)	・ユニットケア施設において特に重要となる施設マネジメントについて学ぶ	講義 (15分)	・ユニットケア施設のマネジメントについて、マネジメントの実施内容や対象を説明する	・ユニットケア施設において特に重要となるマネジメントについて説明する ・マネジメントすべき対象について説明する	・施設のマネジメントについて解説する ・施設のマネジメントの範囲を、経験を通して知る	P141	スライド	
人的資源 に対する マネジメント (40分)	・管理者およびユニットリーダーが担う人的資源に関するマネジメントについて学習する ・勤務シフトの調整、職員教育、職員に対する相談援助の方法について理解する	講義 (15分)	・職員の配置と勤務シフトの調整	・個別ケアの実践と勤務シフトの関係性について説明する ・勤務シフトの調整が必要なケアの具体例を説明する ・勤務シフトの仕組みを説明する	・具体例を挙げて実践に即した説明を行う ・受講生が自施設の仕組みを理論的に説明できるようにする	P144	スライド 演習教材	
		講義 (10分)	・人材の確保と職員教育	・計画的な人材の確保と育成の重要性について解説する ・良質で最善なサービス提供をするためのユニットリーダーおよびユニットメンバーの教育のあり方について説明する ・職員教育についての実践応力を育成する	・新人教育、自己学習を分けて説明する ・具体例を用いて実践的な説明を行う ・演習等を用いて各施設の教育方法について話し合う	P145	スライド 演習教材	
		講義 (15分)	・職員に対する相談・支援	・人材の定着のための方策の重要性について解説する ・ユニットリーダーおよびユニット職員からの相談に対する接し方を学ぶ ・モチベーション管理における職場環境づくり ・メンタルヘルス、ストレスマネジメントにおけるセルフケアの重要性	・管理者の関わり方として、重要なポイントを強調して説明する	P149	スライド	

指導項目	概要	小項目	指導内容 キーワード	進め方	指導方針・ ポイント	テキスト 該当 ページ	教材	備考
物的資源と財 的資源のマネ ジメント (40分)	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニットの環境整備の重要性およびその手法について学ぶ ・ユニット費が導入されている背景および、その活用方法について学ぶ 	物的資源のマ ネジメント (20分)	・物的資源のマネジ メント	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニットのしつらえの重要性について理解する ・ユニットの環境を整備する方法について学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・映像等の視覚的教材を活用して説明する ・演習等を通じて環境の重要性を理解させる 	P154	スライド 演習教材	
		財的資源のマ ネジメント (20分)	・財的資源のマネジ メント	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の収支構造について確認する ・ユニット費運用の考え方について 	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニット費が導入されている背景要因について説明する ・ユニット費の活用事例など具体例を用いて説明する 	P160	スライド	
情報活用に関 するマネジメン ト (20分)	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニットケアにおける情報の質の違いについて学ぶ ・記録の活用方法について学ぶ ・情報の共有方法について学ぶ 	講義 (10分)	・記録の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・介護単位の小規模化による情報の効率化についての理解を深める ・情報の種類およびその活用方法について学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護単位の小規模化に伴う情報の質の変化を理論的に説明する ・情報の種類と活用方法について説明する 	P164	スライド	
		講義 (10分)	・情報の共有	<ul style="list-style-type: none"> ・申し送りや会議の意味を再確認する 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有の効率化について具体例を用いて説明する 	P165	スライド	
リスクマネジメ ント (60分)	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニットケア施設におけるリスクについて理解する ・事故予防について学習する ・事故発生後の対応について学ぶ ・災害時対応について学ぶ ・感染症対策について学ぶ 	ユニットケア施 設におけるリス クとは(10分)	・ユニットケアの特 徴とそれに伴うリス ク	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニットケア施設のハードウェア構成や固定配置であることなどの特徴とそれに伴うリスクについて説明する 	<ul style="list-style-type: none"> ・特にユニットケア施設において特徴的なリスクについて具体例を用いて紹介 	—		
		事故の予防と 発生後の対応 (25分)	<ul style="list-style-type: none"> ・事故予防のための組織体制や仕組み ・事故発生後の対応ルール 	<ul style="list-style-type: none"> ・事故を予防する際の留意点について学ぶ ・事故が発生した場合の対応について学ぶ ・自施設における取組や事故対応の経験について紹介し合う 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な事例をもとに事故対策の重要性について意識づける 	P168	スライド	
		災害時の対応 (10分)	・地震や風水害等 の災害時における施 設の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・想定される災害、事前の対応、発生時の対応について解説する 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な事例をもとに解説する 	P176		
		感染症対策 (15分)		<ul style="list-style-type: none"> ・一般的な感染症対策について確認する ・特にユニットケア施設で留意すべき感染症対策を紹介する 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な事例をもとに感染症対策の重要性について説明する 	P177		

指導項目	概要	小項目	指導内容 キーワード	進め方	指導方針・ ポイント	テキスト 該当 ページ	教材	備考
重度化と看取りへの対応 (20分)				<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後、ニーズが高まる重度化、認知症、看取りに対応することの必要性について説明する。 ・ 上記について、施設運営において重視すべきこと、留意事項などについて解説する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 管理者として組織における対応方針を明確にすること、方針に沿って整備すべきことなどを意識づける 	P128		
まとめ 振り返り (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習内容の確認 			<ul style="list-style-type: none"> ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 管理者の責任や役割の重要性について意識づける 	---	スライド	

(5) 評価ポイント

➤ 本課目修了時の評価ポイントを以下に示す。

- 組織のマネジメントの手法としての PDCA サイクルが理解できたか。
- 人材資源に関する理解と自施設の課題整理ができたか。
- 物的資源と財的資源に関する理解と自施設の課題整理ができたか。
- リスクマネジメントに関する理解と自施設の課題整理ができたか。
- 今後、ニーズが高まる重度化、認知症、看取りに対応することの必要性について理解することができたか。

5. ユニットケア導入・運営計画演習

(形式：講義・演習)

- 到達目標：
- ・ ユニットケア導入・運営計画演習は、施設管理者研修の講義・演習の内容を受け、自施設における課題を抽出し、課題解決に向けた課題の整理・解決策を検討する。
 - ・ 施設運営計画に反映するための考え方・スキルを養う。
 - ・ 複数の視点からみた課題を参考に、真の課題を捉え、施設としての課題解決能力の向上を目指す。

講師要件：講義内容に関する有識者およびファシリテーター能力のある者（豊富な現場経験を有する施設管理者等）

(1) 本単元の目的・ねらい

- 学習した知識および技能を統合させ、施設管理者としてより良い施設運営のあり方を検討する。
- 事前課題の実施を通じてユニットリーダーや介護職員とのコミュニケーションを図り現場の課題を理解する。
- 施設が抱える課題の整理と課題の解決策を検討し、施設運営計画の策定を通じてユニットリーダー等の職員との関わり方を学ぶ。

(2) 研修体系全体における本単元の位置づけ

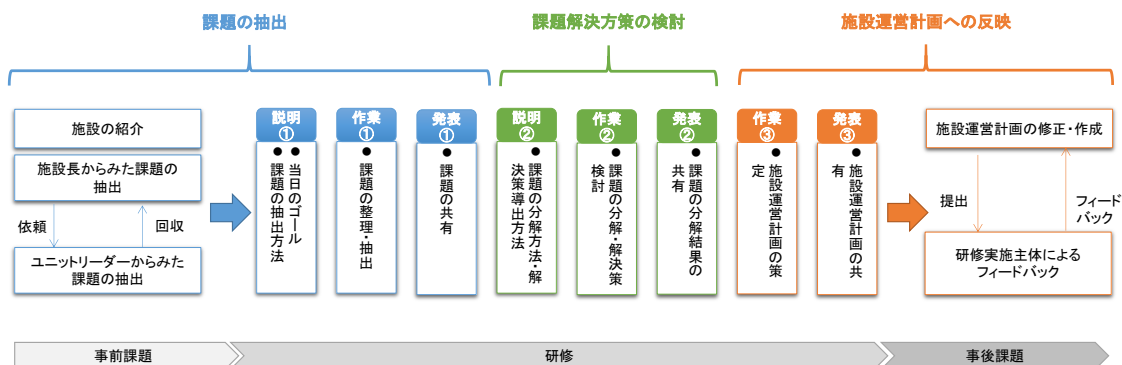
- 集合研修で学んだ内容を総括し、実践につなげる。
- 施設における課題の発見、原因の究明、解決策の検討、実施、評価までの一連の活動を通して、管理者として求められる課題解決能力を総合的に培う。
- 事前課題を通してユニットリーダー等とのコミュニケーションを行い、ユニットリーダーや職員の目線に合わせた課題解決策の検討を行う。

(3) 指導の視点

- 演習の目的と意義を理解させた上で、効果的、効率的な進め方を説明する。
- アクティブラーニングの手法を導入した能動的な学習方法を取り入れ、受講生の主体的な参加を促し、実践、振り返り、他者との関わりを通して意識の向上を図る。

(4) 研修の進め方（例）

- 本課目の指導項目、解説、教材・レジュメ等を以下に示す。
- 本科目では、事前課題を必須とし、「事前課題」「研修」「事後課題」の3つのパートにより、構成する。



指導項目	解説	教材・レジュメ
① 事前課題	<ul style="list-style-type: none"> 事前課題として、管理者(受講者)に対し「施設紹介」「施設の課題」を作成してもらう。「施設紹介」については、施設の概要の紹介に加え、自施設におけるユニットケアの理念と実践等について記載してもらう。「施設の課題」に記載してもらう内容は、課題の記入シートを参照。 施設長からユニットリーダー3名以上(可能であれば全員)に対し、「ユニットリーダーからみた施設の課題」を作成してもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設紹介シート 施設の課題シート(管理者用) 施設の課題シート(ユニットリーダー用)
② 研修	<ul style="list-style-type: none"> 学習者の能動的な学習への参加を取り入れるアクティブラーニングの手法を活用した研修を実施し、自施設の課題を管理者(受講者)が解決し、施設の運営計画を策定できる能力を養う。 研修では5名ずつ程度のグループを作成し、グループごとのディスカッションを促す。 	<ul style="list-style-type: none"> 事前課題 課題の抽出方法に関する講義用資料 ロジックツリーを活用した課題の分解の方法に関する講義用資料 施設運営計画雛形
③ 事後課題	<ul style="list-style-type: none"> 研修の際にはすべて検討することができなかった施設運営計画の空欄部分を埋め、研修実施団体からのフィードバックをうける。 施設運営計画の提出時に受講者自身が本研修に対する振り返りを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設運営計画雛形

(1) 進行例

➤ 事前課題の内容を以下に示す。

課題	作成者	内容
施設紹介	管理者(受講者)	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループディスカッションの際に、施設の背景を紹介するためのパワーポイント 1 枚程度の紹介シートを作成する。 ・ シートには施設の概要に加えて、施設の PR ポイントを 3 つ記載してもらおう。
施設の課題	管理者(受講者)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設長として感じている施設の課題を事前に記載してもらおう。 ・ 課題の記入シートは「施設の運営方針」「サービス提供状況」「関係機関との連携」「地域との連携」「安全対策・緊急時の対応」「苦情処理体制等」「衛生管理・健康管理」「職員採用計画」「人材育成」の枠を設け課題を想起しやすくする。 ・ 新設の施設に関しては、懸念事項を記載してもらおう。
ユニットリーダーからみた施設の課題	ユニットリーダー (新規開設の施設は、リーダー的な立場の介護職員を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 管理者(受講者)から任意のユニットリーダー3 名以上(可能であれば全員)に施設が抱える課題として 2 つずつ課題を出してもらおう。 ・ 新設の施設に関しては、ユニットリーダーになる職員またはリーダー的な立場の介護職員に対し、従来型からユニット型に移行することによる懸念事項を記載してもらおう。

➤ 本課目を実施する際の進行例を以下に示す。

指導項目	進め方(例)	指導方針・ポイント	教材
集合研修の振り返り・当日のゴール・課題の抽出方法の説明 (15分)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義の内容について重要項目を中心にポイントの確認を行う。 ・ 「当日のゴール」「課題の抽出方法」について、講師から説明する。 ・ 課題の抽出方法については事前課題について、管理者(受講者)の認識とユニットリーダーの認識を比較し、管理者(受講者)が認識していなかったがユニットリーダーが抱えていた課題と、施設全体で課題と考えられている内容に分類する 	<p>講義ごとに学んだ内容の復習をする。</p> <p>複数ある課題の中から類似性を見つけ出し、課題を分類する方法を教える。</p>	課題の抽出方法に関する講義用資料(スライド)

指導項目	進め方(例)	指導方針・ポイント	教材
	手法を説明する。		
課題の整理・抽出 (20分)	<ul style="list-style-type: none"> 説明に従い、事前課題で収集した施設の課題について受講者各人が作業を行う。 	<p>自施設が抱える課題について把握し、向き合う姿勢を培う。</p> <p>管理者とユニットリーダー等との認識の違いや改めて施設の課題を再認識してもらう。</p>	事前課題 課題の抽出シート (作業シート)
課題の共有(40分:発表4分+質疑4分 / 1人)	<ul style="list-style-type: none"> 作業結果に基づき、班の中で課題の整理結果の共有を行う。 事前課題で記載した施設の紹介を用い、自施設の長所と短所を客観的に他の人に説明する。 講師・ファシリテーターは、受講者からの質問に対応し、相互レビューの状況を見て、適切なレビューが行われるように声をかける。 	<p>自施設について客観的に説明し、施設の特色および課題を再認識する。</p> <p>ファシリテーターは受講者が他の施設にも関心を持ち、自施設との違いに関する気づきを促す。</p>	事前課題 課題の抽出シート (作業シート)
課題の分解方法・ 解決策導出方法 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> 課題の分解方法・解決策導出方法について講師から説明する。 課題の分解の観点として、ロジックツリーによる「Why」「HOW」「WHAT」分解の方法を説明する。 <ul style="list-style-type: none"> WHAT のツリー:ものごとの構成要素を具体化する WHY のツリー:課題の原因を具体化する HOW のツリー:特定された課題解決のための手段を具体化する 	ロジックツリーの用途を理解し、MECE(相互にダブリがなく、全体としてモレがない)な考え方を身に付ける。	課題の分解シート (作業シート)
課題の分解・解決 策検討(30分)	<ul style="list-style-type: none"> 「課題の整理・抽出」で抽出した課題のうち、施設全体で課題と考えられている内容について(多い場合はいくつか絞る)ロジックツリーによる「Why」「HOW」「WHAT」分解を実施する。 	<p>自施設が抱える課題をもとに、課題の分析を行う。</p> <p>MECEなど論理的に考え施設長としての課題解決の考え方が身に着くよう促す。</p>	課題の分解シート (作業シート)
課題の分解結果 の共有(30分:発表3分+質疑3分 / 1人)	<ul style="list-style-type: none"> 作業結果に基づき、班の中で課題の発生原因、解決方法について発表を行う。 他の人からの意見を取り入れることにより、より内容のブラッシュアップ 	<p>ファシリテーターは受講者が他の施設にも関心を持ち、自施設との違いに関する気づきを促す。</p>	課題の分解シート (作業シート)

指導項目	進め方(例)	指導方針・ポイント	教材
	ブを行う。		
施設運営計画の策定(10分)	<ul style="list-style-type: none"> 検討したテーマに関する一項目ついて施設運営計画を策定する。 	作業として分析した結果や発表内容、参加者からのコメントをもとに施設運営計画として文章化する。	施設運営計画雛形
施設運営計画の共有(60分)	<ul style="list-style-type: none"> それまでにグループワークを実施していたグループとは異なるグループを組成し、施設の紹介、抱えている課題、課題の原因、解決方針、それを受けた施設運営方針を発表する。 	ファシリテーターは受講者が他の施設にも関心を持ち、自施設との違いに関する気づきを促す。	
まとめ(15分)	<ul style="list-style-type: none"> 演習内容のまとめ・講評をおこなう。 事後課題の遂行と提出のスケジュール、サポート体制などについて説明する。 	実施機関によるサポートが得られることを伝える。	

- 事後研修では、受講者に研修で学んだことを自施設において実践し、研修中には策定できなかった施設運営計画の空欄部分を埋めて提出してもらおう。提出物に対し、講師およびファシリテーターから各施設の実態に合わせたフィードバックを行う。

(5) 評価ポイント

- 本課目修了時の評価ポイントを以下に示す。

- | |
|---|
| <input type="checkbox"/> 実践課題の目的、意義、課題のポイントを理解することができたか。
<input type="checkbox"/> 自施設の課題に即した施設管理者としてのマネジメントのためのPDCAサイクルの展開のために、適切かつ実現性の高い計画立案を行うことができたか。 |
|---|